

Honeywell



HEIPTZ シリーズ防爆 IP カメラ

設置ガイド

改訂

発行	日付	改訂
A	2022	新規文書。改訂A
B	2022	Honeywell Unified IPユーティリティの更新。改訂B
C	2023	ケーブルと特殊プリセットの詳細を更新。 改訂C

目次

1. 本マニュアルについて	4
2. 商標における著作権と情報に関する注記	6
3. 安全規則	7
4. 安全の手引き	9
5. 識別	11
6. 製品の使用準備	13
7. 設置	19
8. 安全にお使いいただくための注意点	31
9. スイッチオン	33
10. 構成	34
11. カメラコントロールの説明	41
12. メンテナンス	42
13. 廃棄物の処分	44
14. トラブルシューティング	45
15. 宣言	46

1.本マニュアルについて

本マニュアルは、以下の部品番号を持つ HEIPTZ 防爆 PTZ カメラに適用されます

HEIPTZ-5301W-IR	WDR 5MP IR 防爆 PTZ、30 倍ズーム、ワイパー、RJ45 インターフェース、無外装ケーブル 10 m、100～240 VAC
HEIPTZ-5321W-IR	WDR 5MP IR 防爆 PTZ、30 倍ズーム、ワイパー、RJ45 および FC 光ファイバー インターフェース、外装ケーブル 10 m、100～240 VAC

本マニュアルには、解説および説明を目的として、製品、写真、チャート、画像、およびその他のすべての情報を使用および管理するための手順が記載されています。本マニュアルに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートまたはその他の理由により、予告なく変更されることがあります。

本機を設置して使用する前に、付属の文書をよくお読みください。マニュアルは、後で参照できるように取り出しやすい場所に保管してください。

1.1.表記方法



危険！
爆発の危険。
爆発の危険を避けるため、よくお読みください。



危険！
高レベルの危険。
感電の危険があります。特に指示がない限り、作業を行う前に電源を切断してください。



注意！

中レベルの危険。

この操作は、システムが正しく機能するために非常に重要です。記載されている手順をよく読み、指示どおりに実施してください。



情報

システム仕様の説明。

以降の段階を理解するために、この部分を注意深くお読みになることをお勧めします。

2.商標における著作権と情報に関する注記

記載されている製品名または会社名は、商標または登録商標です。

Honeywell International (India) Pvt. Ltd.(以下「**Honeywell**」)は、本マニュアルの内容(テキストと画像を含む)の著作権を所有しています。**Honeywell** の許可なく、個人または組織によるいかなる内容の複写、転送、修正、複製は禁じられています。

Honeywell は、本マニュアルに記載されている製品の設計または仕様を、予告なく変更する権利を有します。

3.安全規則



注意！

このデバイスは、必ずアース導体(保護アース)に接続する必要があります。この接続は、電源ラインコネクタを介してのみ実行してください。外部等電位ボンディング接続も行う必要がありますが、これはアースへの補助的なボンディング接続のためであり、現地の法規または当局により義務付けられています。



当局が義務付けている等電位ボンディング用の外部穴。保護アース接続として使用しないでください。

本マニュアルに記載されている機器の不適切な使用によって生じた損傷については、製造元は一切の責任を負いません。さらに、製造元は事前の予告なくその内容を変更する権利を有します。本マニュアルに記載されている文書は、細心の注意を払って収集および検証されています。ただし、製造元はその使用について責任を負うことはできません。本マニュアルの作成および制作に携わった個人や企業についても、同様のことが言えます。

- これらの指示をお読みください。
- これらの指示は保管してください。
- すべての警告に注意を払ってください。
- すべての指示に従ってください。
- 発火の危険性を減らすため、爆発のおそれがある場合は本機を開いたり、切断したりしないでください。本製品は、操作中しっかりと閉じてください。
- 本装置は、 $-40^{\circ}\text{C}\sim+60^{\circ}\text{C}$ ($-40^{\circ}\text{F}\sim+140^{\circ}\text{F}$) の周囲温度での使用が認定されています。詳細については、製品の表示を参照してください。
- 本装置の設置は、適切な訓練を受けた技術者が IEC 60079-14 の該当する実施規定に従って実施する必要があります。
- デバイスの表面温度は、直射日光にさらされると上昇します。デバイスの表面温度等級は、周囲気温でのみ決定されています。

- 直射日光は考慮されていません。
- デバイスの重量を維持するのに十分な強度がある設置面を選択してください。また、強風にさらされるなどの特殊な環境も考慮してください。
- ユニートを固定する面を選択するのはユーザーの責任であるため、ユニートを特定の面にしっかりと取り付けるための固定具は提供しません。設置担当者は、特定の目的に適した固定具を選択する責任があります。デバイスの少なくとも 4 倍の重量に耐えるだけの方法および材料を使用してください。
- このデバイスはリモート制御されており、いつでも位置を変更できます。可動部が人に当たらないように取り付ける必要があります。可動部が他の物体に接触したり、危険な状況が発生させたりしないように設置する必要があります。
- 電源を供給する前に、機器がしっかりと固定されていることを確認してください。
- 電源切断装置は電気設備に含まれている必要があります、すぐに認識することができ、必要に応じて操作できなければなりません。
- 磨耗しているケーブルや、古いケーブルは使用しないように注意してください。
- 技術サービスについては、必ず認定技術者に相談してください。
- 設置を進める前に、提供された材料が注文仕様と一致していることを識別ラベルで確認してください。
- 本製品はクラス A 製品です。家庭環境では、本製品が電波障害を引き起こす可能性があります。この場合、ユーザーは適切な措置を講じる必要があります。
- 主電源電圧ディップおよび短時間停電要件に準拠するため、適切な無停電電源装置 (UPS) を使用してユニットに電力を供給してください。

4.安全の手引き

このマニュアルは、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や資産の損失を回避できるようにすることを目的としています。

予防措置は、「警告」と「注意」に分かれています。



警告！

これらの警告を無視すると、重傷や死亡につながるおそれがあります。

- 地域の機関(例;BIS など)の安全特別低電圧規格に適合する電源アダプタを使用してください。消費電力を必要な値より小さくすることはできません。
- アダプタの過負荷は過熱や火災の原因となる可能性があるため、複数のデバイスを 1 つの電源アダプタに接続しないでください。
- 本製品を壁または天井に取り付ける場合は、デバイスをしっかりと固定する必要があります。
- 火災や感電の危険を減らすため、屋内用の製品を雨や湿気にさらさないでください。
- この設置は、すべての現地法規を遵守して、有資格の保守担当者が行う必要があります。
- 電力を容易に中断できるように、停電装置を電源回路に取り付けます。
- 製品が正常に動作しない場合は、取扱店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。製品をご自身で分解しようとししないでください。(当社は、無断で修理または保守を行ったことによって発生した問題について一切責任を負いません。)



注意！

いずれかの注意を怠った場合、怪我や装置の損傷が発生する可能性があります。

- 防爆 PTZ カメラがネットワークのローカル時刻と同期しない場合は、防爆 PTZ カメラの時刻を手動で設定する必要があります。防爆 PTZ カメラ(Web ブラウザまたはクライア

ントソフトウェア経由)にアクセスし、システム設定インターフェースに入り、時刻の設定を行います。

- 製品を使用する前に、電源電圧が正しいことを確認してください。
- 製品を落としたり物理的な衝撃を与えたりしないでください。振動する表面や場所に本製品を設置しないでください。
- 強力な電磁波放射環境にさらさないでください。
- レンズを強い光(太陽や白熱灯など)に向けしないでください。強い光により、本製品に致命的な損傷を与えるおそれがあります。
- センサーがレーザービームによって焼かれる可能性があるため、レーザー機器を使用する場合は、センサーの表面がレーザービームにさらされないようにしてください。
- 動作温度については、仕様マニュアルで詳細を参照してください。
- 熱の蓄積を防ぐため、適切な使用環境には十分な換気が必要です。
- 移送中は、製品が元の梱包材に梱包されている必要があります。
- 製品カバーを開けるときは安全手袋を使用してください。指の酸性の汗によって製品カバーの表面コーティングが腐食する可能性があるため、指で製品カバーに直接触れないでください。
- 製品カバーの内側と外側の表面を清掃するときは、柔らかい乾いた布を使用してください。アルカリ洗剤は使用しないでください。

5. 識別

5.1. 製品の説明とタイプの指定

HEIPTZ シリーズの防爆パン-チルト-ズーム (PTZ) カメラ位置決め装置は、ガス、蒸気、噴霧、空気や粉体の混合物により爆発のおそれのある産業環境において、内蔵カメラの水平面および垂直面の移動が可能となるよう設計されています。

HEIPTZ シリーズ製品は、内蔵カメラで構成され、AISI 316L 電解研磨ステンレススチール製です。

ユニットは基本的に、カメラのベース、本体、およびハウジングで構成されています。

本体には、水平および垂直移動用のモーター、電源ボードおよびビデオズームモジュールが内蔵されています。ビデオカメラハウジングには、HD デイ/ナイトモジュール、加熱装置とあらかじめ取り付けられているレンズワイパーが含まれます。PTZ デバイスの保護等級は IP68 で、動作温度は $-40^{\circ}\text{C} \sim 60^{\circ}\text{C}$ ($-40^{\circ}\text{F} / 140^{\circ}\text{F}$) です。詳細については、製品の表示を参照してください。

HEIPTZ は、パン回転、チルト回転、位置決め精度、高精細な画質、最大限の耐久性、シンプルなシステム構成を提供します。

付属の機器は、以下の規格に準拠しています。

IEC 60079-0:2017

IEC 60079-1:2014

IEC 60079-28:2015

IEC 60079-31:2013

5.2. 製品マーク

HEIPTZ シリーズは、次のような Ex マークの認証を受けています。

Ex db op pr IIC T6...T5 Gb

Ex tb op pr IIIC T80° C...T95° C Db

T5 = $-40^{\circ}\text{C} \leq T_a \leq +60^{\circ}\text{C}$ @ 45.4 W

T6 = $-40^{\circ}\text{C} \leq T_a \leq +60^{\circ}\text{C}$ @ 36.5 W

100~240 V AC

HEIPTZ 設置ガイド

HEIPTZ の製品コードを以下に示します

H	E	I	PTZ	_*	*	*	*	W	***
Honeywell	防爆	IP	PTZ カメラ	解像度	光学ズーム		電源入力	True WDR 付きワイパー	-IR:統合 IR
				-2:2MP	2/3:20x または 30x、35x	0:無外装ケーブル	1:100~240 V AC		「空白」:統 合 IR なし
				-4:4MP	4:40x ま たは 45x	1:外装ケーブ ル			
				-5:5MP		2:OFC 外装 ケーブル(モジ ュール付き)			
				-8:8MP					
				-12:12MP					

製品コードの例:HEIPTZ-2201W-IR

6.製品の使用準備



製造元から明示的に承認されていない変更は、保証と認証の両方が無効になります。



設置前に、デバイスの電源装置および保護仕様が元の注文の内容と一致していることをご確認ください。不適切な機器を使用すると、重大な危険が発生し、作業員や設置の安全が損なわれるおそれがあります。

6.1.使用前の安全上の注意



すべての機器が、用途および設置環境に対して認定されていることを確認してください。



取り扱いについては特別な指示はありません。担当するスタッフは、事故防止のための共通規則に従って業務を遂行することを推奨します。



本デバイスは、電源装置が切断され、他のデバイスへの接続ケーブルが取り外されている場合にのみ、オフになっていると見なすことができます。



電源切断装置は電気設備に含まれている必要があり、すぐに認識することができ、必要に応じて操作できなければなりません。



作業を開始する前に、電源が切断されていることを確認してください。



現場で設置を実施する前に、検査室で接続とテストを行ってください。目的に適切なツールを使用してください。



ユニットを挿入する電気設備には、最大 15 A のバイポーラ保護回路 (磁気熱) が装備されている必要があります。この回路にはバイポーラ自動型回路遮断器が含まれていますが、これもまた、接点間の最小距離が 3 mm の地絡電流保護 (磁気熱+差動) も想定していなければなりません。

6.1.1. 設置時の安全上の注意

- 製品の保守や修理を行う前に、電源を切断してください。爆発性雰囲気があるときは開けないでください！
- 本製品は、油煙、大量のほこり、高温、または結露がある場所では開けないでください。画像の鮮明度が低下する原因となります。
- 取扱説明書に記載されている要件に従ってケーブルを接続してください。そうしない場合、故障が発生する可能性があります。
- 防炎筐体は保護してください。内部チャンバーに金属片やその他の物質が入らないようにしてください。
- 分解や改造は禁止されています。

6.1.2. 構築の安全性

- 設置場所の保護規制に厳密に従う必要があります。
- 安全上のリスクが見つかった場合は、リスクを排除するために直ちに測定を実施し、必要に応じて構築を中止してください。
- すべての種類の安全設備は、厳しい天候の場合には検査、校正、または修理する必要があります。
- 氷、霧、雨、雪は、しっかりと除去する必要があります。
- 保護ケースおよびその他の安全設備が構築または分解された場合は、警告エリアを設定し、そのエリアを保護する人員を指定する必要があります。
- 本製品を設置する際には、地面より高い場所での作業が必要となる場合があり、作業員は資格を有している必要があります。

6.1.3. 電源装置の要件

- 本製品の設置およびサービス時には、地域の電気安全基準に従う必要があります。
- 緊急時の遮断用に便利な通電遮断装置を採用する必要があります。
- 始動前に、電源が動作に適しているかどうかを確認してください。
- 電源ケーブルは、特にプラグ、ソケット、およびジョイントがデバイスから外れないように、踏みつけや圧縮から保護してください。

6.1.4. サービス条件の要件

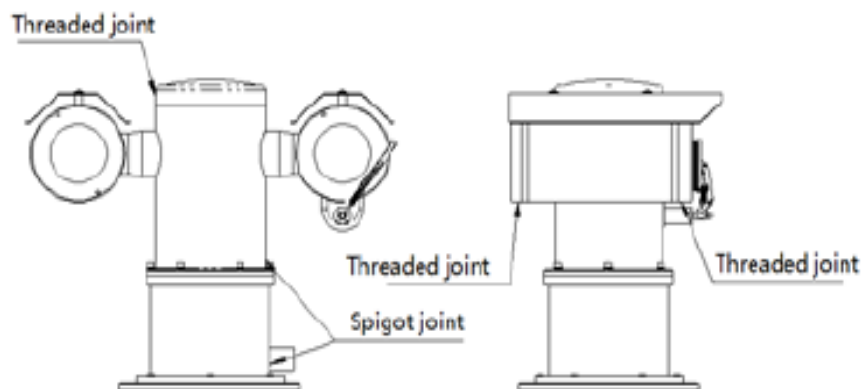
- カメラの焦点を強い光(ランプや直射日光など)に合わせないでください。画像が明るすぎる原因となります。故障ではありませんが、イメージセンサーの持続時間に影響します。
- 適切な温度と湿度の範囲内で、本製品を輸送、操作、保管してください。濡れた場所、高温(+60° C 以上)、極端に低温の(-40° C 未満)環境、または強い電磁放射や不安定な照明条件下に設置しないでください。詳細については、製品の表示を参照してください。
- 本製品は、内部の電気エレメントを損傷するおそれがある水やその他の伝導性流体の浸入から保護する必要があります。
- 製品の過熱を避けるため、十分な換気をする。
- 輸送、保管、または操作時の圧縮または激しい振動で損傷しないようにしてください。
- 本製品は、新製品または同等品として、輸送時に適切に梱包する必要があります。
- 雷保護装置付きで本製品を使用することをお勧めします。
- 内部および外部の接地は確実にを行い、断面積は 4 mm² 以下でなければなりません。

6.1.5. 操作および保守の要件

- 本製品は分解しないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。
- ガラスウィンドウに直接触れないでください。ブローアーでガラス本体のほこりを吹き飛ばすのが適切です。クリーニングが必要な場合は、柔らかい布に清潔な水を染み込ませて、ガラスを軽く拭いてください。
- カメラ本体のクリーニングには、柔らかい乾いた布を使用できます。簡単に清掃できない汚れには、中性洗剤を使用して汚れを落とし、カメラ本体を乾かします。腐食剤、研磨剤入りクリーナーはカメラのクリーニングには使用できません。表面が損傷したり、サービス性能が低下する可能性があります。
- 本製品は、認定された担当者が設置および修理する必要があります。分解または修理はご自身で行わないでください。交換が必要な場合は、製造元が指定したコンポーネント/アクセサリのみを使用できます。
- カメラ画像センサー(CMOS)はレーザービームによって損傷する可能性があるため、カメラがレーザービームの放射線を受けたり、太陽の連続的な撮影は避けることをお勧めします。

6.1.6.防爆構造の手引き

- 防爆カメラの防炎筐体設計では、内部への爆発性ガスの侵入を防ぎ、筐体内部の爆発で爆発性ガスが発生しないように十分配慮しています。筐体の強度を高め、関連部品の接合部の長さや隙間を調整し、表面温度の最大値を制限することで、防爆性能を確保しています。
- T6 定格では最大表面温度は 80° C 以下、T5 定格動作では 100° C 以下とします。
- のぞき窓には強化ガラスが採用されており、強化ガラスは衝撃および熱衝撃試験に合格しなければなりません。
- 保護等級:IP68 (1.2 m/45 分)
- 製品の保守時に防炎面を保護してください。保護をしないと、損傷した防炎面が防爆仕様の性能に影響を与えます。



6.2.開梱

製品が納品されたら、梱包に損傷がないこと、および製品が落下したり傷が付いたりしていないことを確認します。

明らかな損傷が見られる場合は、すぐにサプライヤに連絡してください。

不良品を返品する場合は、元の梱包材を使用して発送することをお勧めします。

修理のために製品を発送する必要がある場合に備えて、梱包材を保管しておいてください。

6.3.内容物

内容物を確認して、以下の梱包品リストに対応していることを確認してください。

- 防爆 PTZ カメラ HEIPTZ メインセット 1 個
- サンシールド 1 個
- M10 x 40 六角ボルト 5 本 (スプリングワッシャー、平ワッシャー、ナット付き)
- M3、M6 内側六角レンチ 1 本
- F タイプレンチ、248 x 16x 10、オプション
- 取扱説明書

6.4.包装材の安全な廃棄

梱包材はすべてリサイクルできます。設置担当者は廃棄する材料を分別し、いかなる場合にもデバイスが使用される場所で有効な法令に準拠する責任があります。

6.5.設置前の準備作業



設置には、適切な工具を使用してください。デバイスを設置する場所の特定の性質によっては、設置に特別な工具が必要な場合があります。



注意！本機の設置と保守は、専門の技術スタッフのみが行う必要があります。



デバイスの重量を維持するのに十分な強度がある設置面を選択してください。また、強風にさらされるなどの特殊な環境も考慮してください。



可動部が人に当たらないように取り付ける必要があります。可動部が他の物体に接触したり、危険な状況が発生させたりしないように設置する必要があります。



電源を供給する前に、機器がしっかりと固定されていることを確認してください。



技術サービスについては、必ず認定技術者に相談してください。



ユニットを固定する面を選択するのはユーザーの責任であるため、ユニットを特定の面にしっかりと取り付けるための固定具は提供しません。設置担当者は、特定の目的に適した固定具を選択する責任があります。一般的に、デバイスの少なくとも 4 倍の重量に耐えるだけの方法および材料を使用してください。

ユニットは複数のブラケットで取り付けることができます。取り付けの際には、承認されたブラケットとアクセサリのみ使用することを強くお勧めします。

7.設置



すべての機器が、用途および設置環境に対して認定されていることを確認してください。



注意！本機の設置と保守は、専門の技術スタッフのみが行う必要があります。



システムの起動時に、自動校正動作が行われます。電源が入っているときはデバイスの近くに立たないでください。



設置が地域の規制や仕様に準拠していることを確認してください。



電源を切断し、回路遮断器を開いた状態で、電気接続を行う必要があります。

Honeywell では、最終設置場所に置く前に、デバイスの設定と性能をテストすることを強く推奨します。

7.1.使用範囲

ユニットは、内蔵カメラを使用して爆発のおそれがあると分類される区域を監視することを目的として、固定された場所で使用するよう設計されています。

設置および操作温度範囲は $-40^{\circ}\text{C}\sim+60^{\circ}\text{C}$ ($-40^{\circ}\text{F}/140^{\circ}\text{F}$)です。詳細については、製品の表示を参照してください。

相対湿度が 95%未満

気圧範囲は 80～110kPa

本機は、適用範囲と最小安全要件を定義する国際規格 **IECEX** に準拠して製造および認定されています。

本製品は、グループ **IIA、IIB、IIC、T1～T6** ガス、蒸気および空気の爆発混合物が存在する可能性があるゾーン 1 およびゾーン 2 の危険区域、爆発性粉塵が存在する可能性があるゾーン 21 およびゾーン 22 の危険区域に適用されます。

7.2.設置方法

システムは、標準的な直立位置(壁/ポール/コーナー取り付け)にのみ設置することができます。標準操作用に設置すると、カメラの向きとコントローラの機能がシステムのソフトウェアを介して通常の操作用に再設定されます。

標準操作では、ハードウェアの調整は必要ありません。

7.3.ケーブルの接続



注意！本機が接続されている電気システムには、最大 **15A** の自動二極式回路遮断器が装備されている必要があります。回路遮断器の接点間の最小距離は **3 mm (0.1 インチ)** にする必要があります。回路遮断器には、接地(差動)および過電流(磁気熱)への障害電流に対する保護が備わっている必要があります。



電源切断装置は電気設備に含まれている必要があります、すぐに認識することができ、必要に応じて操作できなければなりません。



デバイスの技術的な作業を行う前に、電源装置が切断されていることを確認してください。



本デバイスは、電源装置が切断され、他のデバイスへの接続ケーブルが取り外されている場合にのみ、オフになっていると見なすことができます。



磨耗しているケーブルや、古いケーブルは使用しないように注意してください。



動作温度に耐えられる適切なケーブルを使用してください。

7.4. ケーブルエントリー

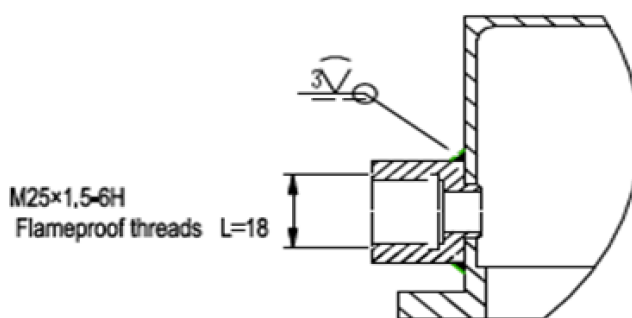
本機から電線管システムまたはケーブルグランド、外部環境への炎や爆発の拡散を防ぐため、IECEX に準拠した接続を使用してください。

すべてのケーブルグランドデバイスは、防爆構造「d」や「tb」の認定を受けて使用条件に適しており、正しく設置する必要があります。

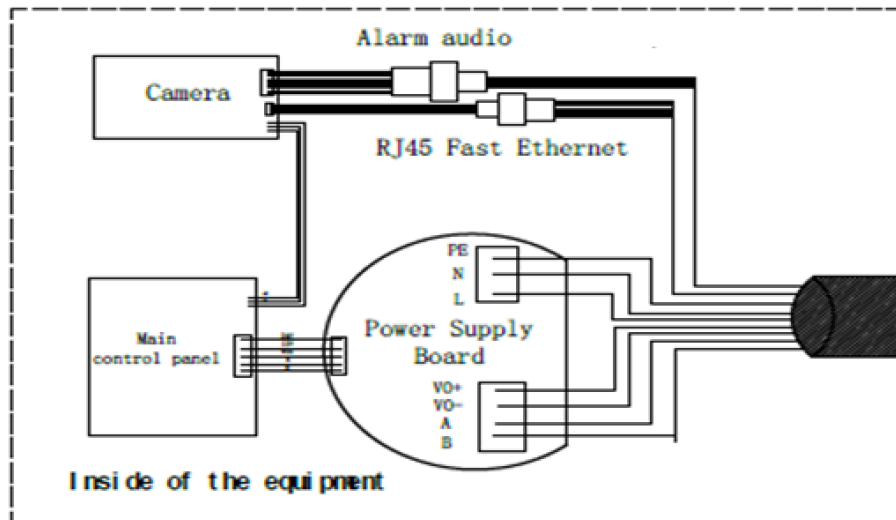
電線管を使用する場合は、防爆構造「d」や「tb」で、使用条件に適し、正しく設置された適切な認証済みジャンクションボックスを使用してください。外装の壁から 25 mm (1 インチ) 以内に取り付けます。

すべての電気ケーブルを接続し、イーサネットコネクタを挿入します。

パッケージ製品では、横軸にケーブルエントリーが 1 つあり、ネジ規格は M25×1.5 です。IECEX 認証のケーブルグランドとシーリング材を使用してください。Ex マークは Ex db IIC Gb/Ex TB IIC DB IP68 以上の保護等級である必要があります。ケーブルグランドの説明書に従い、正しく取り付けてください。



The internal wiring diagram is as follows:



7.5.電源ラインの接続

バージョンによっては、本機に異なる電源電圧を供給できます。電源電圧は本製品に記載されています。



電源を切断し、回路遮断器を開いた状態で、電気接続を行う必要があります。



設置を開始するときは、設置に必要な電源の仕様が本機に必要な仕様に対応していることを確認してください。



電源装置のソケットとケーブルの寸法が適切であることを確認してください。



アースケーブルは、他の 2 本のケーブルよりも約 10 mm 長くして、引っ張ったときに誤って外れないようにする必要があります。



電源ケーブルは必ずシリコン/ゴム製の外装で覆われていなければなりません。シリコン/ゴム製の外装は、ケーブルタイで固定する必要があります。



電源アース接続、次の適切なケーブル断面を使用: 2.5 mm² (13AWG)

使用する電源ケーブル: 1.5 mm² (15AWG)

アース線タイプ TEWN、断面積がラインおよびニュートラルケーブル以上。

ラインおよび中性線タイプ TFFN または MTW

電源 100~240 V AC 50/60 Hz

電源ラインの接続	
ケーブルの色	端子
青	(N) ニュートラル
茶	(L) 位相
黄/緑	アース

7.6.アース接続

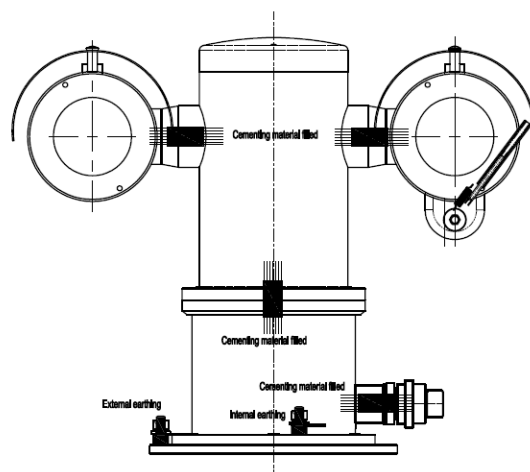


注意！外部等電位接続は、本製品の外部からセットアップする必要があります。保護端子は使用しないでください。



保護アース(外部アース)接続、次の適切なケーブル断面を使用: 4 mm² (11AWG)

外部等電位ボンディング接続も行う必要がありますが、これはアースへの補助的なボンディング接続のためであり、現地の法規または当局により義務付けられています。



7.7.イーサネットケーブルの接続

このカメラには、UTP ケーブル付きの **RJ45** オスコネクタが必要です。

次の特性を持つイーサネットケーブルを使用することを強く推奨します。**STP** (シールド)、カテゴリ **5E** (以上)。

ケーブルの両端にシールド **RJ45** コネクタを使用してください。操作者側のイーサネットケーブルシールドは、必ずコネクタを介して接地する必要があります。

イーサネットケーブルを **RJ45** コネクタに接続します。

光ファイバーコネクタ付きカメラには、オプションとして次の内容が用意されています：

光コネクタ：**FC** タイプ

シングルモードシングルファイバー (Tx 1310/Rx 1550 nm)

到達範囲：約 20 km

7.8. アラーム、オーディオ、リセットケーブル

次の表を使用して、アラーム、オーディオ、リセットなどの端子を特定します。
シールドケーブルを使用して接続することをお勧めします。

RJ45 コネクタ付きカメラの無外装ケーブルの詳細	
ケーブルの色	説明
紫	オーディオ出力
黒	オーディオ-G
紫/白	オーディオ入力
青/白	アラーム入力 1
青	アラーム入力 2
茶/白	アラーム入力 3
茶	アラーム入力 4
赤/白	アラーム入力 5
黒/白	アラーム-G
オレンジ/白	アラーム出力(オープンドレイン出力)
オレンジ	アラーム出力-COM
緑/白	ウォッシュャーアラーム出力
緑	ウォッシュャーアラーム出力-COM
赤	リセット
グレー	リセット-G
コア	アナログビデオ出力+
シールド	アナログビデオ出力-
黄	RS485+A(工場使用)
白	RS485-B(工場使用)

RJ45 およびファイバーコネクタ付きカメラの外装ケーブルの詳細	
ケーブルの色	説明
紫	オーディオ出力
黒	オーディオ-G
紫/白	オーディオ入力
青/白	アラーム入力 1
青	アラーム入力 2
茶/白	アラーム入力 3
茶	アラーム入力 4
赤/白	アラーム入力 5
黒/白	アラーム-G
オレンジ/白	アラーム出力(オープンドレイン出力)
オレンジ	アラーム出力-COM
緑/白	ウォッシュャーアラーム出力
緑	ウォッシュャーアラーム出力-COM
赤	リセット
黄/白	リセット-G
コア	アナログビデオ出力+
シールド	アナログビデオ出力-
黄	RS485+A(工場使用)
白	RS485-B(工場使用)

アラームケーブルの最大長は 100 m です。

次の特性を持つケーブルを使用:シールドケーブル、最小直径 0.25 mm²(23AWG)。

7.9. サンシールドの取り付け

サンシールドを取り付ける前に、保護フィルムをはがします。付属のネジとワッシャーを使用し、サンシールドをハウジングに固定します。

十分な量のネジロック剤(Loctite 270 など)をデバイスのベースのネジ穴に塗布します。

ねじコンパウンドは 1 時間硬化させなければならないので、この時間を確保して取り付けを完了させてください。

7.10.電気パラメータ

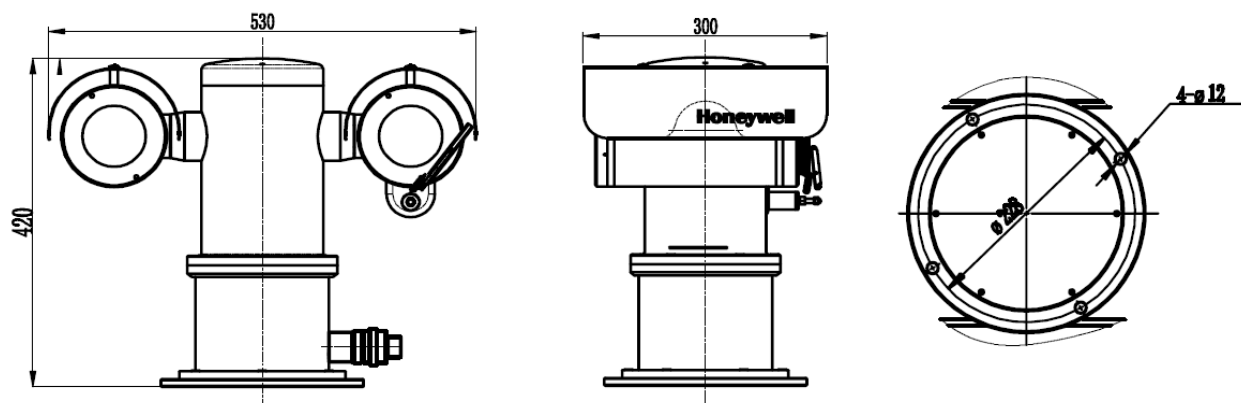
絶縁抵抗: 電力端子と外装間の絶縁抵抗は 50 MΩ 以下でなければなりません。

絶縁耐力: 50 Hz、AC 1500 V の絶縁耐力試験は、電力端子と外装間で 1 分間実施。50 Hz、AC 500 V の絶縁耐力試験は、配線端子と外装間で実施。故障やフラッシュオーバーは認められません。

電圧	100～240 V AC、50～60 Hz
電気接続	同梱ケーブル
通信タイプ	イーサネットおよびオプションの光ファイバー
プリセット位置	400、精度 ≤ 0.1°
ツアーおよびパターン	12 ツアーおよび 6 パターン
照明距離	200 m (照度が 19 ルクスよりも低くなると、ライトは自動的に点灯します)
ファストイーサネット電気信号インターフェース	全二重 TCP/IP プロトコルイーサネットインターフェース送信
オーディオ:	オーディオ入力 1 個、オーディオ出力 1 個
アラーム:	アラーム入力 5 個、アラーム出力 2 個 (ウォッシュャーコントロール専用アラーム出力 1 個を含む)

7.11.外観仕様パラメータ

材料:	ステンレス鋼 316L
水平回転角度と速度:	連続 0～360°、最大速度 40°/s
垂直回転角度と速度:	連続 0～±90°、最大速度 30°/s
還送差:	水平および垂直で 1.2°未満
重量(正味):	39 kg
重量(総重量):	41 kg
設置タイプ:	直立
ケーブルエントリ規格	M25×1.5

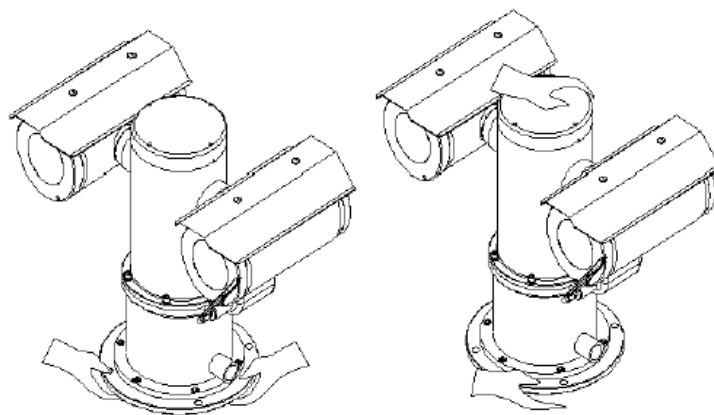


All dimensions in MM.

- 嵌合長さや嵌合ネジが IEC 60079-1 の値を超えています
- 防炎ジョイントの幅が、EN 60079-1 規格で指定されている最小値を超えています。必要に応じて、防炎ジョイントの修理は、製造元が提供する構造仕様に準拠してのみ行う必要があります
- 防炎外装ファスナーの降伏応力は、450 MPa 以下でなければなりません

7.12.本製品の移動方法

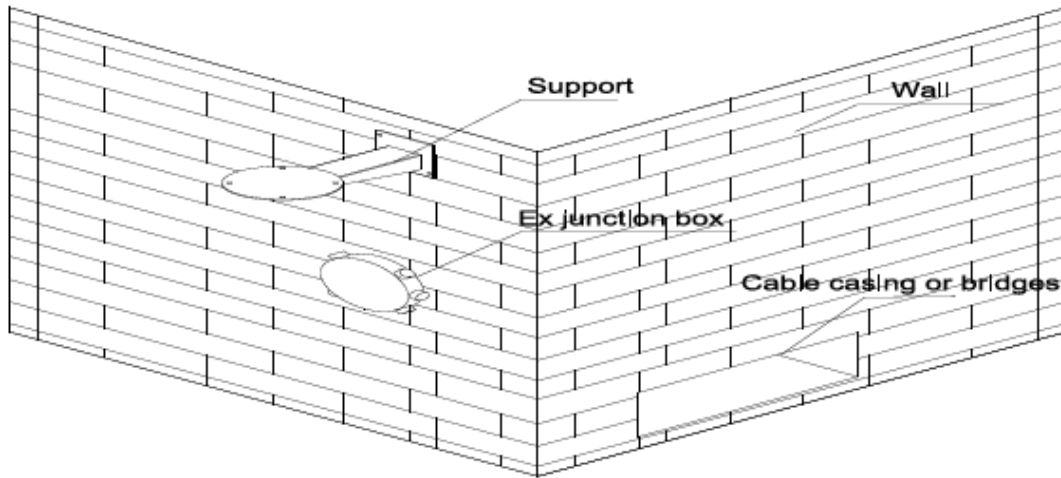
製品の電源を切って、サンシェード、ワイパー、ベースに力がかからないよう、引きずったり打ち付けたりしないよう、底部を持って移動します



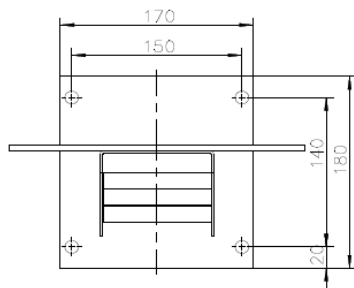
製品が通電している場合は、この製品を開いたり、移動したり、打ち付けたり、引きずったりすることはできません。

7.13. サポート/ブラケットの取り付け

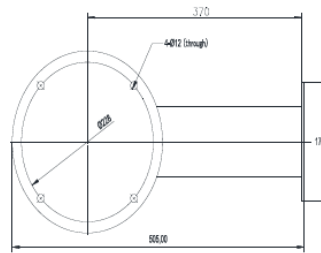
適切な位置でサポート取り付け穴を選択し、カメラの方向が正しいことを確認してサポートをアンカーまたはプラグボルトで固定します。ジャンクションボックスは常に設置と保守が容易な位置に取り付けられています。ケーブルはワイヤケーシングまたはブリッジでジャンクションボックスに接続されています。



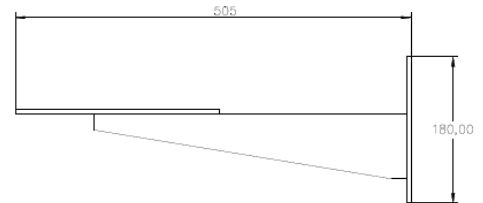
サポート/ブラケットの取り付け



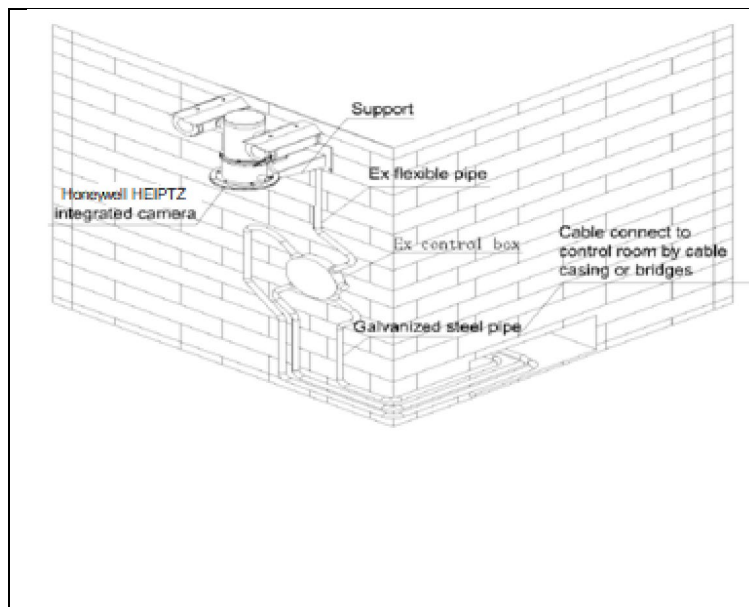
Side view of support



Top view of support



Front view of support



HEIPTZ カメラ下の取り付け穴の配置については、左の図を参照してください。イラストの例では、カメラの予備ケーブルをサポートのケーブルに通し、カメラからジャンクションボックスに接続したケーブルは、防爆仕様のフレキシブルパイプ（または外装ケーブル）で保護できます。ジャンクションボックスから制御室へのケーブルは、金属パイプまたは外装ケーブルで保護できます。

8.安全にお使いいただくための注意点

8.1.サポートブラケットの取り付け



次の作業を行う前に、主電源電圧が正しいことを確認してください。

8.2.試運転

設置を開始する前に、このユーザーハンドブックをすべてよくお読みください。

Honeywell は、最終設置場所に置く前に、本機の設定と性能をテストすることを強く推奨します。目的に適切なツールを使用してください。

製品を設置場所に設置する前に、システムの動作をテストして良好であることを確認してください。

すべてのデバイスが、用途および設置環境に対して認定されていることを確認してください。

発火の危険性を減らすために、爆発のおそれがある場合は、本機を開かないでください。

システムの試運転後は、このハンドブックを安全な場所で保管し、後で参照できるようにしてください。

8.3.安全規則

システムの重量がかなりある場合は、適切な搬送およびハンドリングシステムを使用してください。作業を開始する前に、電源が切断されていることを確認してください。

システムに電力を供給する前に、建物の電気機器に過負荷保護装置を取り付けてください。

個人の安全のために、予防措置がすべて講じられていることを確認してください。

電気機器の設置は、地域の法令に準拠する必要があります。

本デバイスは、必ず資格を有する技術者が設置してください。

8.4.爆発防止規則

作業する場所に合わせて適切な工具を使用してください。
本機は必ず適切なアース導体に接続する必要があります。
本機の技術的な作業や保守を行う前に、爆発のおそれがないことを確認してください。
作業を開始する前に、電源が切断されていることを確認してください。
爆発のおそれがある環境にいる場合は、キャップを開けないでください。
すべての接続、設置、保守作業を、爆発のない環境で行ってください。

8.5 特定の使用条件

- 1.アダプタを使用する場合、各エントリには 1 つ以上のスレッドアダプタを指定しないでください。ブランキングエレメントはアダプタと一緒に使用しないでください。
- 2.スケジュールに記載されている図面を参照せずに、ユニットのフレームパスを変更してはなりません。
- 3.防災ジョイントに関連するファスナーの力学的性質クラスは、最小降伏応力 450 MPa で少なくとも A4-70 でなければなりません。
- 4.使用する前に、最低限の装置マークに従い、Ex 認定 Ex db IIC Gb および Ex TB IIIC DB IP68 ケーブルグランドまたはブランキングエレメントを個別に組み込む必要があります。
- 5.ケーブルグランドで温度が 70° C、分岐点で温度が 80° C を超える可能性があります。適切な定格のケーブルを選択する必要があります。
- 6.カメラハウジングからの光ファイバー出力は、必ず適切な認定外装内または安全区域内で終端する必要があります。
- 7.光ファイバーケーブルを保護するため、光ファイバー出力を装備している場合は、外装ケーブルまたはコンジットのみを使用してください。
- 8.機器にはほこりが堆積しないように注意する必要があります。

9. スイッチオン



自動予熱 (De-Ice) プロセスは、本機のスイッチがオンになっていて気温が 0° C 未満のときにいつでも開始できます。この手順は、本機が低温でも正しく動作することを保証するために必要です。持続時間は、環境条件に応じて異なります (60 分~120 分)。

電源を接続すると、本機の電源がオンになります。
本機の電源を切るには、電源を切断します。

9.1. 爆発のない環境で製品に電力を供給する前に



設置した本機および他のコンポーネントが閉じていて、通電中の部品と接触しないことを確認してください。



接続部が正しくしっかりと閉じていることを確認してください。



シールフィッティングのシーリングが適切に実施されていること、およびシーリング材が完全に硬化していることを確認してください (装備されている場合)。



本機が説明どおりにアースリンクに接続されていることを確認してください。



すべての部品がしっかりと安全に固定されていることを確認してください。

10.構成

カメラを取り付けて接続したら、Honeywell Unified Tool ユーティリティを使用してローカルネットワーク (LAN) でカメラを検索できます。

Unified Tool のインストールパッケージを取得するには、

<https://myhoneywellbuildingsuniversity.com> に移動してログインします。**Technical Support Self-Service** [テクニカルサポートセルフサービス] → **Download Center** [ダウンロードセンター] → **Video** [ビデオ] → **Tools** [ツール] → **Camera Tools** [カメラツール] → **Unified Tool [Unified Tool]** の順に移動します。Unified Tool のインストールパッケージをコンピュータにダウンロードして解凍します。

Unified Tool をインストールするには:


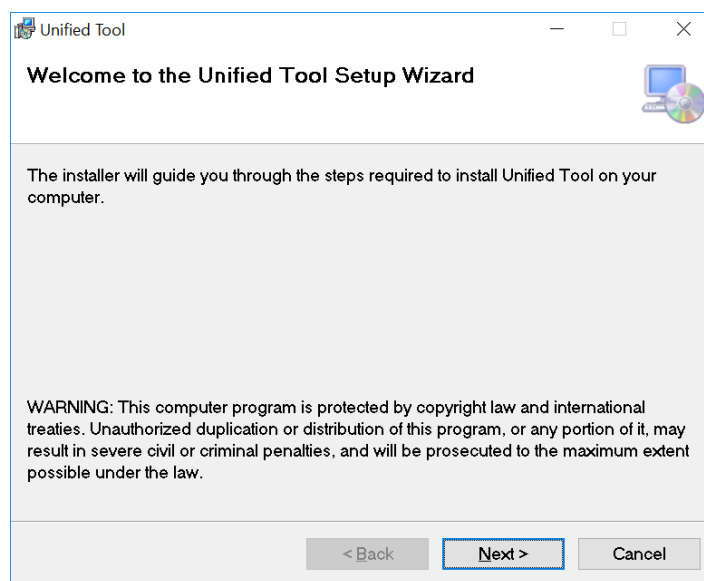
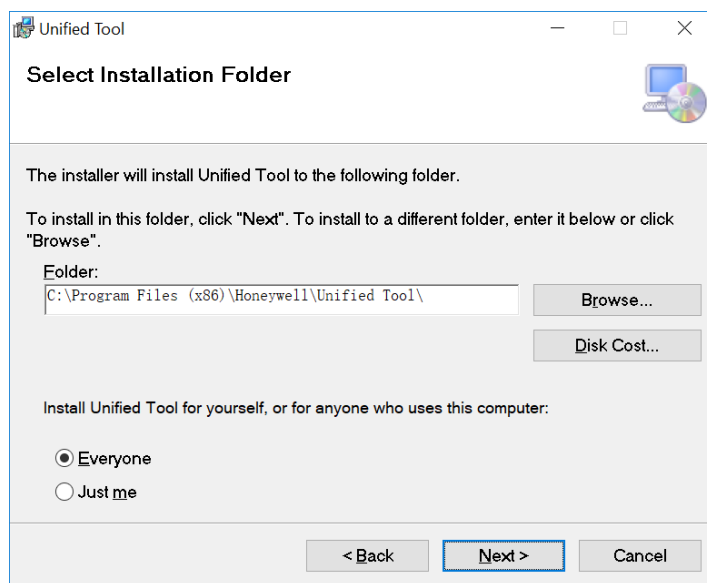
1. インストールパッケージのインストールプログラムをダブルクリックします。

図 1 Unified Tool をインストールする



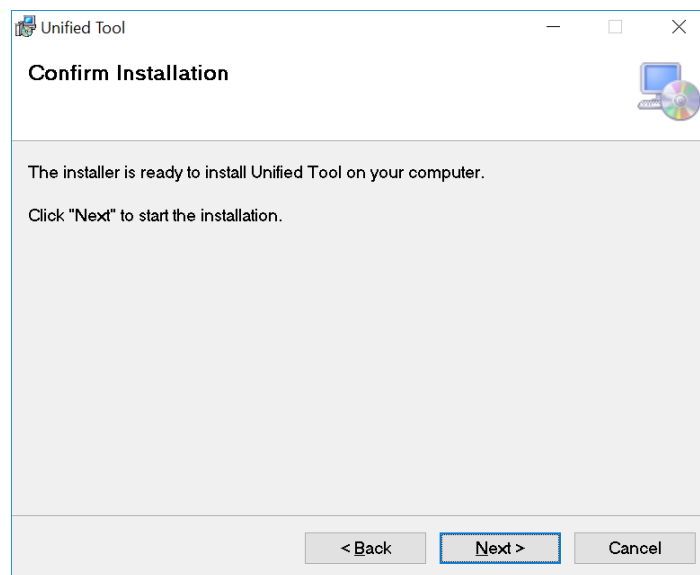
2. **Next** [次へ] をクリックすると、次の図が表示されます。

図 2 インストールフォルダを選択する



3. 画面の指示に従って設定を行い、**Next [次へ]**をクリックします。次の図が表示されます:

図 3 インストールを確認する



4. **Next [次へ]**をクリックします。インストールが完了したら、**Close [閉じる]**をクリックします。Unified Tool のショートカットがデスクトップ上に表示されます。

ネットワーク上でのカメラ検出


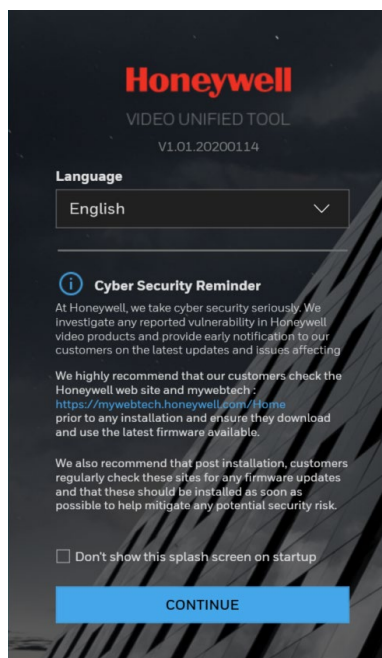
1. デスクトップでをダブルクリックすると、次の図が表示されます。

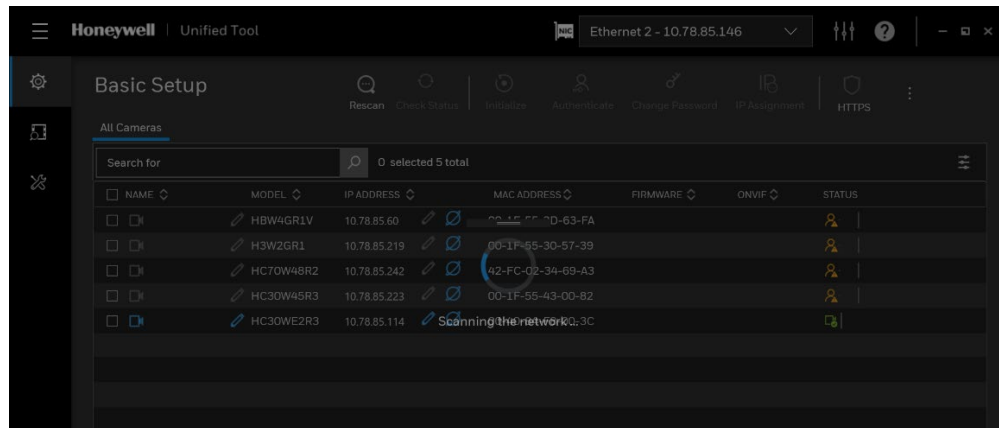
図 4 スプラッシュウインドウ



2. Language [言語]ドロップダウンリストから言語を選択します。現在、サポートされているのは英語のみです。
3. **Don't show the splash window on startup** [起動時にスプラッシュウインドウを表示しない]をオンにすると、次回このページをスキップできます。スプラッシュウインドウを再確認する場合は、に示すようにをクリックし、**Show the splash page on startup** [起動時にスプラッシュページを表示する]のチェックボックスをオンにします。
4. **CONTINUE** [続行]をクリックします。ネットワーク内のデバイスが自動的にスキャンされます。

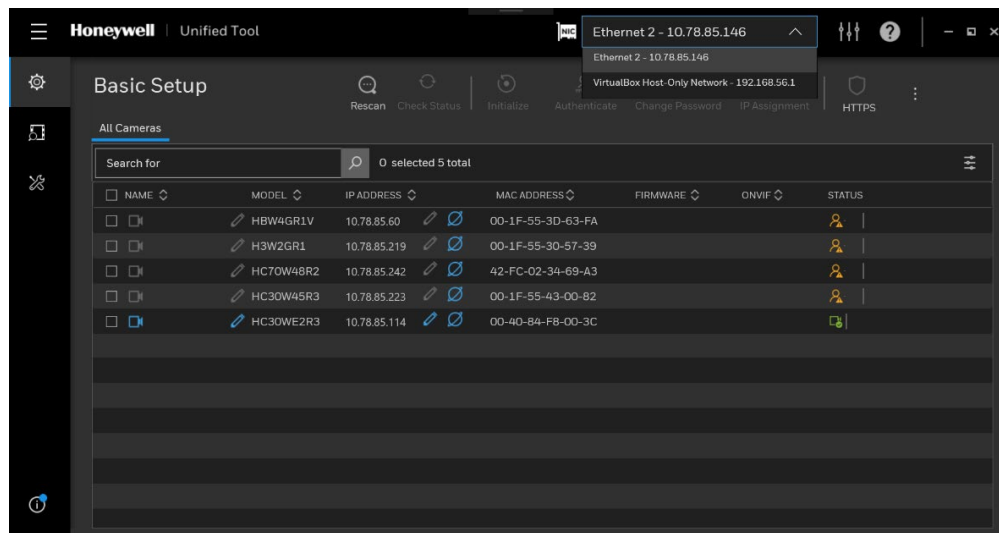
HEIPTZ 設置ガイド

図 5 ネットワークのスキャン



スキャン後、同じサブネットと異なるサブネットでスキャンされたすべてのデバイスがデバイスリストに表示されます。

図 6 デバイスリスト



カメラの初期化


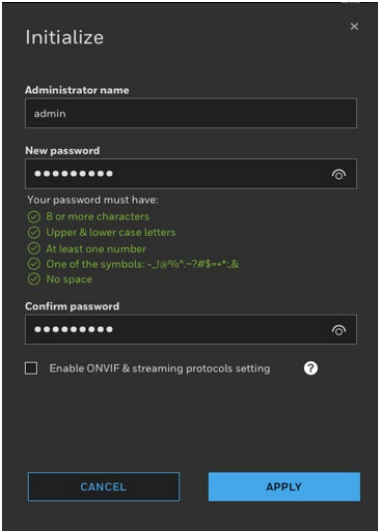
 をクリックして 35 シリーズカメラを初期化することをお勧めします。初期化によって、カメラのパスワードを一括して設定できます。

図 7 初期化の 1 ページ目



Initialize [初期化] ページで、**Administrator name [管理者名]** と **New password [新しいパスワード]** を設定します。チェックボックスをオンにして、**ONVIF & streaming protocols setting [ONVIF およびストリーミングプロトコルの設定]** を有効にします。**HTTPS only [HTTPS のみ]** を選択します。**APPLY [適用]** をクリックします。

- 注記:**
- **Honeywell** では **HTTPS only [HTTPS のみ]** を使用することを強くお勧めしています。**Honeywell** では、この結果に対する責任を負いません。
 - 特定のカメラでサポートされている **ONVIF** およびストリーミングプロトコルの設定。サポートされていないモデルはスキップされます。

図 8 初期化の 2 ページ目

Initialize

Administrator name
admin

New password
●●●●●●

Your password must have:

- 8 or more characters
- Upper & lower case letters
- At least one number
- One of the symbols: ~!@%^&*~?#\$+*.,&
- No space

Confirm password
●●●●●●

Enable ONVIF & streaming protocols setting

HTTP & HTTPS HTTPS only

CANCEL APPLY

正常に初期化されたら、カメラを認証し、その他の設定を行うことができます。

カメラへの新しい IP アドレスの割り当て

カメラの現在の IP アドレスが、デバイスリストの **IP ADDRESS [IP アドレス]**列に表示されます。必要であれば、新しい静的 IP アドレスをカメラに割り当てることができます。

図 5 に示すようにターゲットデバイスを選択し、 をクリックします。次の図が表示されます。

図 9 IP 割り当て

IP Assignment

IP address

DHCP Manual

Start IP address
192.168.199.244

End IP address
192.168.199.244

Subnet
255.255.255.0

Gateway
192.168.199.100

DNS server address

Prefer DNS server
192.168.199.100

Alternate DNS server
0.0.0.0

CANCEL APPLY

IP アドレス設定を構成する

- IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ設定を自動的に取得するには、**DHCP** のチェックボックスをオンにします。
- IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ設定を手動で構成するには、**Manual [手動]** のチェックボックスをオンにして設定を入力します。開始 IP アドレスを入力すると、システムが選択したデバイスの数に応じて終了 IP アドレスを自動的に計算します。
- すべての設定が完了したら、**APPLY [適用]** をクリックします。

DNS サーバーアドレスを構成する

DNS サーバーアドレスを構成し、**Apply [適用]** をクリックします。

11.カメラコントロールの説明

11.1.HEIPTZ カメラユーザーガイド



IP PTZ カメラの操作の詳細については、**Honeywell HEIPTZ ユーザーガイド**を参照してください。

11.2.ワイパーの有効化



外気温が **0° C** 以下の場合、または凍結している場合は、ワイパーを使用しないでください。

この機能を有効/無効にするには、使用する制御デバイスのマニュアル、または関連する章 (11.3 特別な制御)を参照してください。

11.3.ウォッシャーの有効化

この機能を有効/無効にするには、使用する制御デバイスのマニュアル、または関連する章 (11.3 特別な制御)を参照してください。

11.4.特別な制御

特別な制御	
アクション	プリセット
ワイパーコールプリセット	103
ウォッシャーコールプリセット	116

12.メンテナンス



本機の技術的な作業や保守を行う前に、爆発のおそれがないことを確認してください。



注意！本機の設置と保守は、専門の技術スタッフのみが行う必要があります。



本機の技術的な作業を行う前に、電源装置を切断してください。



製造元は、このハンドブックに記載されている機器の損害について、改造、純正品以外の予備部品の使用、非認定や経験不足の技術者による設置、保守、修理に起因する場合、一切の責任を負いません。



本製品の修理は、適切な訓練を受けた担当者、または **Honeywell** 担当者の監督の下で前述の条件に従って行う必要があります。



部品の損傷については、**Honeywell** が修理または交換を行うか、その監督の下で行う必要があります。



指定されたとおりに部品を交換する場合は、必ず **Honeywell** の純正の予備部品を使用し、各予備部品キットに付属の保守手順説明に注意深く従ってください。



保守が必要になった場合は、必要なすべての操作を実施する検査室に製品を返却することをお勧めします。

Honeywell にお問い合わせの際は、シリアル番号とデバイスの識別コードをお知らせください。

12.1.定期保守(定期的実施)

12.1.1.ガラスのクリーニング

本製品は、水または危険が生じない液体洗剤でクリーニングする必要があります。

12.1.2.製品のクリーニング



製品外側の表面は、5 mm を超えるほこりで覆われないようにしてください。
デバイスは湿らせた布でクリーニングしてください。コンプレッサーは使用しないでください。

12.1.3.ケーブルの点検

ケーブルに損傷や摩耗の兆候があつてはなりません。これらは危険な状況を引き起こす可能性があります。この場合、特別な保守が必要です。

13. 廃棄物の処分

廃電気・電子機器指令 (WEEE) に関する欧州指令 2012/19/EU は、これらの機器を自治体固形廃棄物の通常の手順で処分してはならないことを定めています。しかし、回収の流れや含まれる廃棄物のリサイクルを最適化し、潜在的に危険な物質が存在することによる人の健康と環境への影響を低減するために、個別に回収する必要があります。

廃棄物は、適切な回収センターに送られる場合もあれば、新しい同等品の購入時に購入した代理店に無料で、またはサイズが **25 cm** 未満の機器の場合は新規購入する義務もなく、引き取ってもらえる場合もあります。

これらのデバイスの適切な処分の詳細については、担当の公共サービスにお問い合わせください。

14.トラブルシューティング



本製品の修理は、適切な訓練を受けた担当者、または Honeywell の担当者監督の下で前述の条件に従って行う必要があります: IEC/EN60079-19。



以下の問題が解決しない場合、またはここに記載されていないその他の問題がある場合は、認定サポートセンターにお問い合わせください。

15. 宣言

- この取扱説明書は、可能な限り完璧なものにするよう常に心がけていますが、設置や保守で起こりうる問題をすべて盛り込むことはできません。この取扱説明書に記載されていない問題の詳細については、当社までお問い合わせください。
- 操作者やユーザーは、誤用またはこのマニュアルに従わない操作による損害または損失について責任を負うものとします。

Honeywell HBT India Buildings

Unitech Trade Center, 5th Floor, Sector-43,
Block C, Sushant Lok Phase - I,

Gurgaon - 122 002

Tel: +91 124 4975000

<https://honeywellbuildings.in>

Honeywell

www.honeywell.com/security

1800-103-0339 (India)

<https://honeywellbuildings.in>

文書改訂C - 2023年01月

© 2023 Honeywell International Inc. All rights reserved. Honeywellの書面による承諾なしに本書の全部または一部を転載することはできません。本書の情報はあらゆる点で正確を期しています。Honeywellは、製品の使用に起因するいかなる結果についても責任を負いません。本書に記載の情報は予告無く変更する場合があります。本書の改訂版や新規作成版には当該の変更を反映するものとします。